

シリブカガシは県東部にない!?

Lithocarpus glaber (Thunb.) Nakai

シリブカガシ

[ブナ科]

ブナ科の常緑高木で、本州（近畿地方以西）・四国・九州・琉球、台湾・中国（中南部）に分布し、県内では低山のシイ林内に生育しています。県内の海岸に近い常緑樹林内では普通にみられると考えていましたが、標本調査をした結果、田野町以東の県東部で標本が採集されていないことが分かりました。今後、調査による分布の実態解明が望めます。

シリブカガシは、高知県に生育するブナ科のなかで、唯一秋咲きの種です。また、果実（どんぐり）は2年成のため、9月から10月にかけて花と果実を同時にみることができます。実りの秋のこの時期は目立ちますので、是非探してみてください。

下の分布図で採集されていない市町村で見つけた際には、標本採集をお願いいたします。



◆ 募集する情報

- ☐ 大月町、土佐市、芸西村、田野町以東の市町村での生育情報
- ☐ 上記の生育地で採集した花や果実がついている標本



9-10月頃、花と若い果実が両方つく。



葉表は濃緑色で光沢がある。



葉裏は銀白色。



どんぐりはやや帯紫色で表面は白いロウ物質で覆われるため独特の色味となる。



名前の由来は、どんぐりの“尻”部分が凹むことから「尻深榎」。



図.シリブカガシの分布